

千葉県成田周辺地域における対応の基本方針について

検討経緯

- 首都圏における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」※(以下「協議会」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「協議会」において検討し、決定しました。

※「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」の構成員

国土交通省関東地方整備局、関東運輸局、警視庁、埼玉県警本部、千葉県警察本部、神奈川県警察本部、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社

H24.6 第1回協議会

H24.7 第2回協議会

H24.12 第3回協議会

主要渋滞箇所の特定

H25.6 第4回協議会

対応の基本方針の公表

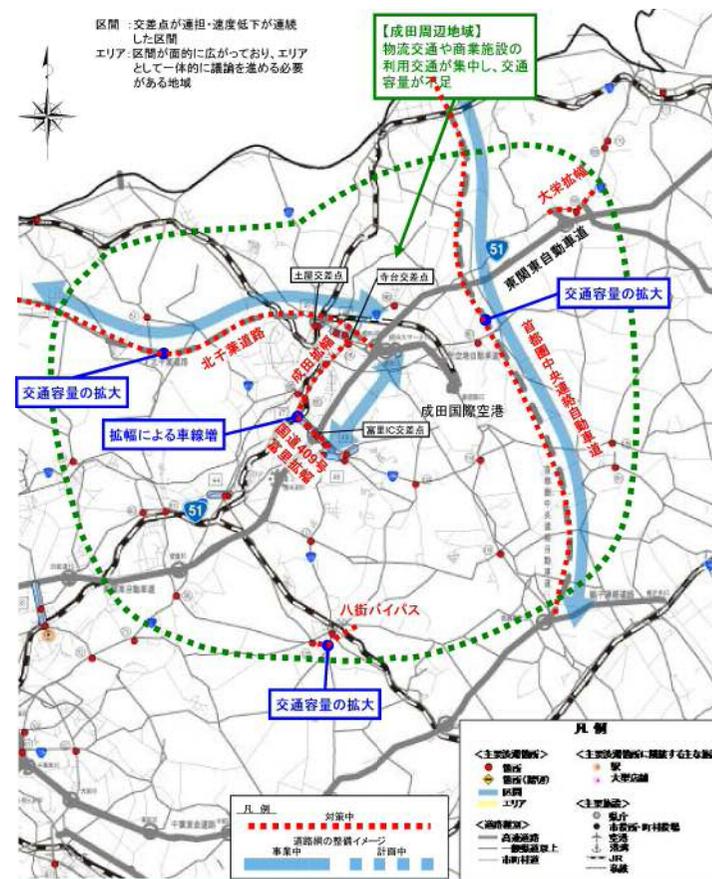
1. 千葉県成田周辺地域の概況

	概要
千葉県成田周辺地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> 約3,300万人/年の空港利用者が訪れ、約200万t/年の物流を取扱っている成田国際空港があり、近年は大規模商業施設が空港周辺の成田市内に出店しています。 また、平成25年4月には、酒々井IC付近に大型商業施設が出店しています。 京葉・鹿島両工業地域を結ぶ路線として東関東自動車道及び国道51号が市街地中心部を通過しています。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 主要な幹線道路が市街地を通過しており、成田国際空港の物流交通や大型商業施設の利用交通が集中することにより、通勤時間帯や休日に寺台交差点や土屋交差点、富里IC交差点等で渋滞が発生しています。 東葛地域から成田空港に至る幹線道路周辺及び茨城県境や山武地域から成田空港に至る幹線道路では、主要交差点において交通集中による速度低下や渋滞が発生しています。

2. 対策の方向性

	概要
道路整備等	<ol style="list-style-type: none"> 市街地での交通容量不足に対する渋滞対策 市街地における物流交通や大型商業施設の利用交通による渋滞については、拡幅による車線増による交通容量の拡大を図ります。 →拡幅による車線増(成田拡幅、国道409号富里拡幅等) 空港へのアクセス道路の渋滞対策 東葛地域及び茨城県境や山武地域から空港に至る幹線道路や空港周辺の主要交差点における交通の集中による渋滞について、交通容量の拡大を図ります。 →交通容量の拡大(北千葉道路、圏央道、八街バイパス等) →空港周辺の主要交差点における交通容量の拡大(成田拡幅等)

3. 千葉県成田周辺地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



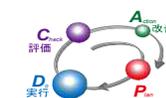
今後の対応方針

各主要渋滞箇所の渋滞対策にあたっては、首都圏3環状道路等の整備や環状道路の利用促進等によるネットワークの有効活用に取り組みつつ、一般道における交差点円滑化、交通容量の拡大等について各道路管理者や警察が連携し道路利用者の協力を得つつ、千葉県移動性向上プロジェクト委員会の意見をいただきながら、検討箇所の抽出、渋滞要因の分析、対策の立案・実施を行っていきます。

→市街地での交通容量不足に対する渋滞に対する拡幅による車線増による交通容量の拡大や空港へのアクセス道路における交通容量の拡大を実施します。

- 今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから、千葉県移動性向上プロジェクト委員会の意見をいただきながら主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行っていきます。

(PDCAサイクル)



千葉県南部地域における対応の基本方針について

検討経緯

- 首都圏における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」※(以下「協議会」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「協議会」において検討し、決定しました。

※「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」の構成員

国土交通省関東地方整備局、関東運輸局、警視庁、埼玉県警本部、千葉県警察本部、神奈川県警察本部、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社

H24.6 第1回協議会

H24.7 第2回協議会

H24.12 第3回協議会

主要渋滞箇所の特定

H25.6 第4回協議会

対応の基本方針の公表

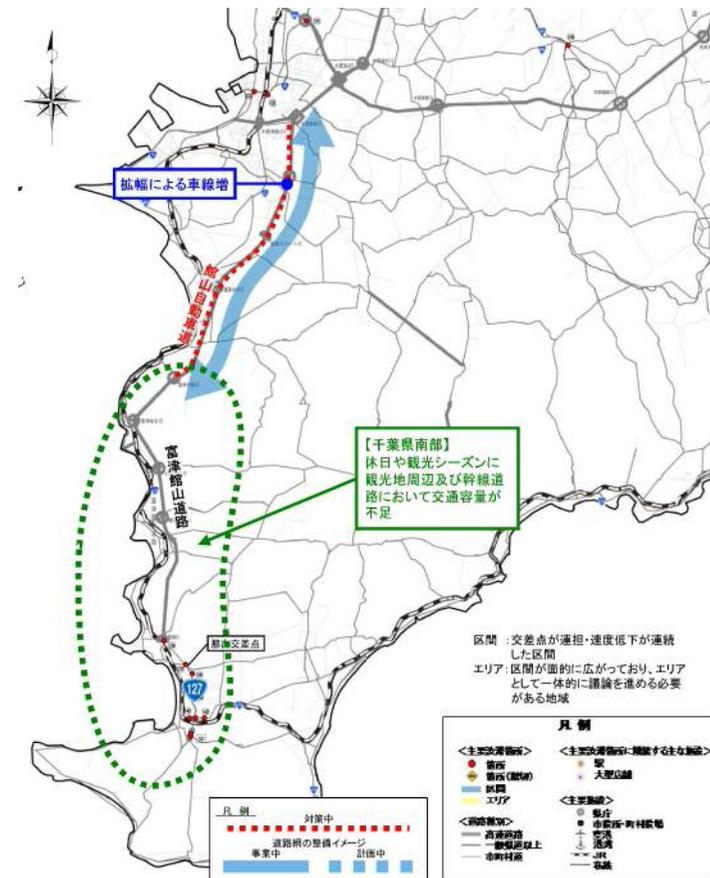
1. 千葉県南部地域の概況

概要	
千葉県南部地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県南部地域は、南北軸として館山自動車道・富津館山道路と国道127号により交通ネットワークが構成されています。 南房総地域は、年間を通じて温暖であり、約1,000万人/年の観光客が訪れています。特に菜の花の開花する春先や、夏の海水浴シーズンには多数の観光客が訪れています。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 南房総地域には観光施設が多く立地しており、休日や観光シーズンには、観光地への経路にあたる館山自動車道の速度低下や観光地周辺的那古交差点等において交通集中による渋滞が発生しています。

2. 対策の方向性

概要	
道路整備等	<ul style="list-style-type: none"> 休日等における観光交通による渋滞の対策について観光地への経路にあたる幹線道路における交通集中による渋滞について、交通容量の拡大や交差点改良により交通の円滑化を図ります。 → 拡幅による車線増(館山自動車道等) → 交差点改良(那古交差点等)

3. 千葉県南部地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



今後の対応方針

- 各主要渋滞箇所の渋滞対策にあたっては、道路構造上の問題に起因する渋滞ボトルネック箇所の対策や一般道における交差点円滑化、交通容量の拡大等について各道路管理者や警察が連携し道路利用者の協力を得つつ、千葉県移動性向上プロジェクト委員会の意見をいただきながら、検討箇所の抽出、渋滞要因の分析、対策の立案・実施を行っています。
- 休日や観光シーズンにおける観光地への経路における渋滞について、拡幅による車線増による交通容量の拡大や交差点改良等を実施します。
- 今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから、千葉県移動性向上プロジェクト委員会の意見をいただきながら主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行います。(PDCAサイクル)

